

高畠植物誌 1号 1962

稻築町の植物相について（第Ⅱ報）

熊大 渡 邦 光

"Flora of Inatsuki (second report)"
Department of Biology, Faculty of Science, Kumamoto University
Hiromitsu Watanabe

稻築町の Flora について、筆者は分布的見地より、71科222種を、安藤・犬塚は生態学的立場で、特に水中植物を中心に 18科30種を報告した。筆者は昨年に引き続き調査を進め、未調査の岩崎、漆生、和田山の一連の山地（これを便宜上「和田山連山」とする。）を中心とし、2年目の調査を終えたので、ここに再び報告する。

1961年7月25日鴨生を中心に、61.8.12 長坂一帯（表で枝坂と略す）、61.10.8 漆生～岩崎～新山野炭坑～黒田～漆生（岩崎と略す）の未調査地区 6.2.5.5 漆生～和田山連山～宮地～平（和田山連山） 62.8.2 辻 和田山連山～宮地（和田山連山）の調査を行なった。その他地（和田山連山）の調査を行なった。その他路傍で採集したものもある。今回の採集物は54科129種で採集場所（上記に略した場所を示している。）、採集月日、科名、種名はTable 1に示している。なお記載された植物は凡て筆者、一部熊大理学部生物教室に貯蔵にしてある。標本はあげてない。

採集しながら気づく事は、前報で報告したキク科の *Stigeron* 属が、ボタ山のみでなく堤防、鉄道沿線、三菱五坑の廃坑（特に壊された社宅跡）その他の荒地で大群落を呈していることである。新しく切り開かれた場所、あまり手入れをされていないところ等に多い。この群落が環境に対し、どの様に遷移（Succession）を示すか、今後の問題である。特に焼ボタ山に於いて、調査すると、ボタ山の遷移がわかり面白いのではないか。

というのは、捨てられた三井がはっきりわかっているので、前報で（三井の新しい帰化植物である）クワ科のクワニドキ（*Ambrasia Trifida* L.）を辻の川原で採集した事を報告していたが、その場所で再び発見する事は出来なかった。が、幸運にも62年9月に（西テツバス）飯塚市鶴三番停留所の堤防で郡落を作っている事を発見した。遠賀川の一部鶴三緒と、その上流の山三川（辻）で発見出来た事は何かを暗示している様に思え、これも今後の研究に待たなければなるまい。次にアリノトウゲサ [*Euloragis micrantha* (Thunb.) R. Br. 62. 7. 20 枝坂]について一寸記載しておき。

草原植物で普通平地では見られない。筆者は阿蘇外輪の草原地帯、三市岳、三郡山で採集し、未だ平地で採集していなかったが、今回採集したものは10数コの丘にある「三井鉱」山枝坂山の上クラブ^{ハシ}シバクサの中にまじっていた。という事は恐らく、シバを草原から切り出す際に、そのシバの中に混在していたものが、そのまま植えられたのであろう。現に、阿蘇外輪山の草原地帯ではシバの中にアリノトウゲサがみられた。シバクサにするために切り出しているのを観察した事があるので、草原の植物が平地で生活しているという事は上述仮説が成立すると思われる。

筆者、安藤、犬塚、今度の報告を整理すると95科371種になる。中に園芸種も数種混在しているが、大部分自生種である。1科に10種以上あるものとして、キク科（37種）シソ科（10）マメ科（18）バラ科（10）

タデ科 (11) カヤツリグサ科 (13) イネ科 (46) オシダ科 (12) で、この4で、マメ科、バラ科の1部分を除くと草本で述べ植物は数少ない。昨年、この報告で福島地方の路傍の植物の大部分記載された事と思うが、未だ完全でなく、結論は下せない。

次に中央の人々では地方の分布、生態的な調査は出来ないのであるから、地方の人々がやらねばならないと思う。この仕事は基礎的なのであまり面白くないと思うが、ある程度必要であろうと思われる。筆者は他の仕事と並行して今後とも調査を進めて行きたいと思っている。最後にノビルを採集して来れた渡

辺専太郎君（嘉高生徒）、種の同定をお願いした能大 野口教授、今江先生、第一高校 山城先生にお礼を申しあげる。

参考文献

- 渡辺邦光 (61) 筑豊生物研究会会誌 Vol.6 q27
 安藤、犬塚 (61) " " q22
 大井次三郎 (59) 日本植物誌 至文堂
 北村四郎 (57) 日本植物図鑑(上) 保育社
 " (61) (中) "
 田川基二 (59) 日本羊齒植物図鑑 "
 牧野富太郎 (59) 日本植物図鑑 北隆館

種子植物門

被子植物

双子葉

合弁花

キク科 (37種)

ホソバアキノノゲン	60・9・10	鶴生
タカサゴソウ	61・6・11	音入手
カンサイタンボボ	62・5・5	和田山連山
コオニタヒラコ	61・6・11	音入手
オトコヨモギ	61・10・8	岩崎崎
ツワフキ	61・10・8	"
ダンドボロギク	"	"
シラヤマギク	61・8・20	枝坂
オオアレチノギク	"	"
ハルジオン	62・5・5	和田山連山
ハハコグサ	"	

キキヨウ科 (2)

ツリガネニンジン	61・8・12	枝坂
ウリ科 (2)		
ゴキズル	61・10・8	岩崎
カラスウリ	61・8・12	枝坂

オミナオシ科 (1)

オミナエシ	61・10・8	岩崎
-------	---------	----

スイカズラ科 (5)

ガマズミ	61・8・20	枝坂
ソクズ	61・10・8	岩崎
ニワトコ	62・5・5	和田山連山

アカネ科 (5)

ヤマムグラ	62・8・2	和田山連山
ヒメヨツバムグラ	61・6・11	音入手

キツネノマゴ科 (1)

オキツツメ	61・10・8	岩崎
-------	---------	----

ハマウツボ科 (1)

ナンバンギセル	61・10・8	岩崎
---------	---------	----

ゴマノハグサ科 (7)

オオイヌノフグリ	62・3・18	鶴生
スズメノトウガラシ	61・7・25	"

ナス科 (4)

チヨウセンアサガオ	61・8・20	枝坂
イヌホウスキ	62・8・2	和田山連山

シソ科 (10)			グミ科 (3)		
ヒメジン	61・10・8	岩崎	ナワシログミ	61・10・8	岩崎
ムラサキ科 (1)			ジンチョウゲ科 (2)		
タビラニ	62・3・18	鶴生	コガンピ	62・8・2	和田山連山
キヨウテクトウ科 (1)			オトギリソウ科 (3)		
デイカネズラ	62・8・18	鶴生	ヒメオトギリ	62・8・2	和田山連山
ヤブコウジ科 (2)			ツバキ科 (2)		
イズセンリヨウ	61・10・8	岩崎	サザンカ	61・10・8	鶴生
ツツジ科 (3)			ブドウ科 (2)		
シャシヤンボ	61・10・8	岩崎	ツタ	61・8・12	枝坂
リョウブ科 (1)			モチノキ科 (2)		
リョウブ	62・8・2	和田山連山	モチノキ	62・5・5	和田山連山
ミズキ科 (1)			トウダイグサ科 (3)		
アオキ	62・3・18	鶴生	コニシキソウ	61・7・25	鶴生
セリ科 (9)			エノキグサ	61・8・12	枝坂
セリ	61・8・12	枝坂	ミカン科 (1)		
ウマノミツバ	62・8・2	和田山連山	サンショウ	62・5・5	和田山連山
ツボクサ	61・10・8	岩崎	フウロウンソウ科 (2)		
ノチドメ	61・10・8	岩崎	ゲンノショウコ	61・10・8	岩崎
ウコギ科 (4)			マメ科 (25)		
キズタ	62・3・18	鶴生	ゲンゲ	62・5・5	和田山連山
タラノキ	62・5・5	和田山連山	ミヤコグサ	62・5・5	
アリノトウグサ科 (1)			ナツフジ	62・8・2	
アリノトウグサ	62・7・20	枝坂	エビスグサ	61・10・8	岩崎
ミンハギ科 (1)			コマツナギ	61・10・8	
ヒメミンハギ	61・10・8	岩崎	ヤブマメ	61・7・25	鶴生
			ヤブハギ	61・10・8	岩崎
			バラ科 (10)		
			ウラジロノキ	62・5・5	和田山連山

テリハノイバラ	62・8・2	和田山連山				
ワレモコウ	61・10・8	岩崎	单子葉植物			
アブラナ科 (5)		枝・叢	ヤマイモ科 (3)			
スカシタゴボウ	61・8・20	枝叢	キクバドコロ	62・8・2	和田山連山	
ツヅラフジ科 (2)			ユリ科 (5)			
ツヅラフジ	61・7・25	鶴生	サルトリイバラ	62・5・5	和田山連山	
アケビ科			ツルボ	61・10・8	岩崎	
ムペ	61・7・25	鶴生	ノビル	62・6・	鶴生	
キンポウゲ科 (4)			ツユクサ科 (2)			
ウマノアシガタ	62・5・5	和田山連山	イボクサ	61・10・8	岩崎	
ヒユ科 (4)			カヤツリグサ科 (13)			
ホソアオゲイトウ	61・10・8	岩崎	タマガヤツリ	61・10・8	岩崎	
ダテ科 (11)			クグカヤツリ	62・7・3	鶴生	
ヤナギタデ	61・10・8	岩崎	コゴメカヤツリ	61・10・8	岩崎	
ウナギツカミ	"	"	ウシクゲ	"	岩崎	
アノネグサ	"	"	イヌクゲ	"	岩崎	
クワ科 (7)			モエギスゲ	"	岩崎	
コウゾ	62・5・5	和田山連山	ヒメゴウズ	62・5・5	和田山連山	
ヤマグサ	61・10・8	岩崎	ヤマアゼスゲ	61・4・29	和田山連山	
クワクサ	61・10・8	"	イネ科 (46)		平	
ニレ科 (1)			ウシノシッペイ	61・8・20	枝	
ムクノキ	61・10・8	岩崎	メカルガヤ	61・10・8	岩崎	
ブナ科 (6)			オカルガヤ	"	岩崎	
ツブライ	61・10・8	岩崎	モロコシガヤ	"	岩崎	
アラカシ	62・3・18	鶴生	イタチガヤ	"	岩崎	
クルミ科 (1)			スキ	"	岩崎	
ノグルミ	62・5・5	和田山連山	ヒエ	61・8・20	枝	
			スズメノヒエ	"	岩崎	
			アキメヒシバ	61・10・8	枝	
			ヌカキビ	"	岩崎	
			キンエノコロ	"	岩崎	
			ネズミムギ	61・6・11	音入手	
			ナルコヒエ	62・8・2	和田山連山	
			チカラシバ	61・10・8	岩崎	
			ネズミノオ	"	岩崎	

ギヨウニシバ	61・10・8	岩	崎	トクサ科 (2)	61・10・8	岩	崎
アゼガヤ	62・8・20	枝	坂	イヌドクサ		岩	崎
ニワホコリ	62・7・20	枝	坂	スギナ			
ヨシ	61・10・8	岩	崎				
クサミシ	61・8・20	枝	坂				
イチゴツナギ	61・4・29	平					
ヌカボ	61・6・11	音	入	学名は高等植物、大井、			
セトガヤ	62・5・5	和田山連山		帰化植物の一品 牧野			
セイバモロコシ	61・8・20	枝	坂	シダ植物 田中			

裸子植物

マツ科 (1)

クロマツ

62・5・5 和田山連山

シダ植物

キシツオシダ科 (1)

オオキシソウ

61・10・8 岩 崎

ウラボシ科 (4)

ミツデウラボシ

61・10・8 岩 崎

マメズタ

62・3・18 鳥 生

オシダ科 (2)

ホシダ

61・10・8 岩 崎

ヤワラシダ

岩 崎

ヒメクラビ

62・8・2 和田山連山

ヤマイヌワラビ

61・10・8 岩 崎

ゲジゲジシダ

61・10・8 岩 崎

イノモトンウ科 (7)

ラビ

62・8・2 和田山連山

イワガネゼンマイ

61・10・8 岩 崎

アマクサシダ

61・10・8 岩 崎

イヌシダ

61・10・8 岩 崎

ハナワラビ科 (1)

フユノハナワラビ

